

総務教育常任委員会資料

(平成30年7月3日)

【項目】

ページ

- 1 鳥取県元気づくり総合戦略の改訂（案）について
【とっとり元気戦略課】・・・別冊
- 2 県政モニタリング事業の実施について
【県民課】・・・1
- 3 とっとり創生若者円卓会議の実施について
【県民課】・・・2

元気づくり総本部

県政モニタリング事業の実施について

平成30年7月3日
県民課

特定の県政テーマ・取組について、県民の方が「県民目線・県民感覚」で評価し、意見・改善提案等を述べていただき、施策に反映させる「県政モニタリング事業」を実施し、6月17日にモニター説明会・意見交換会を行いました。

1 事業概要

(1) 対象テーマ

テーマ1：県の広報（平成29年度行政監査結果「県の施策に関する広報物の作成状況等」を受けた広報物の適切な発信方法・掲載内容の見直し）

テーマ2：人口減少対策（子育て・結婚支援）

(2) 体制

県政モニター 13名（テーマ1：5名、テーマ2：8名）

コーディネーター 2名（国立大学法人鳥取大学 細井理事・副学長、多田地域学部教授）

県庁担当課職員（テーマ1：広報課、テーマ2：とっとり元気戦略課・子育て応援課）

(3) 進め方

- ① 説明会・意見交換会（県の取組を知り、課題を探る）
- ② レポート提出（課題を考える）
- ③ 第1回モニター会議（課題を深掘りする）
- ④ 第2回モニター会議（改善提案の方向性を考える）
- ⑤ 改善提案とりまとめ、提出

2 説明会・意見交換会の概要

(1) 日時 平成30年6月17日（日）午後1時30分から3時30分まで

(2) 場所 エキパル倉吉 多目的ホール（倉吉市）

(3) 県政モニターの課題認識等

[テーマ1]

- ・ 広報物には興味を持てるような「つかみ」が重要で、パッと見て瞬時に何を伝えたいのか分かる工夫が必要である。
- ・ 広報課によるチェックや、これだけは載せないといけない内容（担当課の連絡先の情報等）をフォーマット等で示し、広報物の品質を保證すべきではないか。
- ・ 紙媒体全面廃止という考え方には疑問がある。デジタルは見に行かないといけないが、紙媒体は興味がなかったものをパッと見ることができる。
- ・ 大学生は広報誌を見ないし、折り込みチラシはスーパーのチラシと一緒に配布されるので読まずに捨てられると思う。配布方法や目的に沿った媒体戦略を検討してどうか。

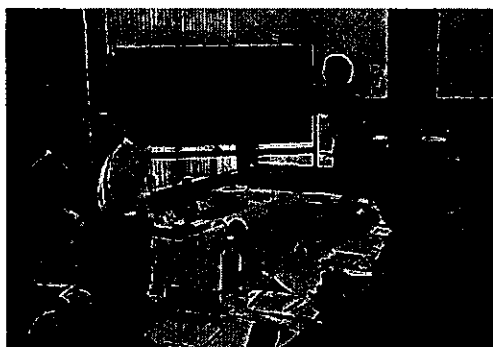
[テーマ2]

- ・ 子育て・結婚支援策はかゆいところに手が届くほど充実しているが、その対象者に情報が届いているのか。（婚活していたが、えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）を知らなかった。）
- ・ 各施策のニーズや現状分析が十分できているのか。
- ・ 価値観は変化していきっているが、各施策は見直ししながら実施しているのか。

県政モニターによる意見交換の様子 ▼

3 今後の取組

県政モニターには、9月までの4か月にわたり、レポート提出、モニター会議での意見交換を通じて、県民目線・県民感覚による県施策の課題点、改善方策等を取りまとめていただき、平成31年度当初予算要求や事業実施への反映を目指す。



とっとり創生若者円卓会議の実施について

平成30年7月3日
県 民 課

各方面で活躍する県内の若者（40歳未満）の発想を提言等にまとめ、県施策へ反映させることを目的とした「とっとり創生若者円卓会議」を実施し、6月23日に第1回会議を行いました。

1 事業概要

(1) テーマ・体制等

区分	テーマ	メンバー	担当課
1	地域を応援する仲間創出	8名	とっとり暮らし支援課
2	山陰海岸ジオパークの魅力発信	9名	山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

(2) 進め方

- 第1回 担当課による事業説明、グループごとの意見交換、活動目標の決定
- 第2回 成果発表（9月下旬予定）
- 第3回 提言書提出（10月）

2 第1回会議の概要

- (1) 日時 平成30年6月23日（土）午後1時30分から3時30分まで
- (2) 場所 café SOURCE BANQUET. (カフェソースバンケット) (鳥取市)
- (3) 活動目標等

【テーマ1】

	内 容
活動目標	移住した定住人口でもなく、観光に来た交流人口でもない、地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」を増やす方法、及び「関係人口」を受け入れるための方法について検討する。
活動方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に関係人口になっている人（もちがせ週末住人の家宿泊者等）へヒアリングを実施する。 ・関係人口案内所や案内人がキーワードと考え、県内外の事例を調べる。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の拠点となる宿泊所等が重要だが、泊まるだけでなく地域の住民と関わらなければその関係は続かない。 ・地域住民の意見を大切にしたい。メンバーには県外出身者が多いので、外部の視点を活かしたい。 ・年代や性別、立場に関係なく話を聞くことが重要であることから、多様な人にインタビューしたい。

【テーマ2】

	内 容
活動目標	ジオパークは京都府、兵庫県、鳥取県の3府県にまたがる広大なエリアなため、各エリアとの連携方法、ガイドの質の確保について検討する。
活動方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークの理解を深めるため、ガイドによるジオパーク見学及びヒアリングを行う。 ・他地域のジオパーク（例：糸井川ジオパーク）へ取材を行う。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとにターゲットを絞れば色々な売り出しができるのではないかな。 ・各エリアのガイド同士の連携を深めることが必要であり、情報共有を図ってはどうか。 ・ジオロゴマーク使用を認定されている食材企業の工場見学ツアーをすれば、ロゴマークの普及につながるのではないかな。

3 今後の取組

円卓会議メンバーには、6月から9月にかけて現地視察、調査及び意見交換等のグループ活動を通じて議論した内容を提言書にまとめていただき、平成31年度当初予算要求等への反映を目指す。

